

横浜市と施設点検の効率化に向けた共同研究協定を締結

AGV 活用による下水道施設の点検業務効率化を目指す取り組みを開始

株式会社フソウ(代表取締役 社長執行役員:角 尚宣、以下 当社)は、横浜市(市長:山中 竹春)と「AGV を活用した電気室の日常点検における業務効率化に関する共同研究協定」を締結しました。本協定に基づき、技術の平易化と業務効率化による技術者不足の解決を目的として、AGV (Automatic Guided Vehicle:無人搬送車)を活用した日常点検における業務効率化の実現可能性に関する検証を開始します。

■背景

下水道施設の機能を維持し、将来にわたり安定した下水道サービスを提供するためには、日常点検が重要です。しかし、点検業務に従事する技術者の不足が年々深刻化しており、事業の持続的な運営と業務効率化の両立が急務となっています。こうした課題を踏まえ、本研究では、AGV 活用による技術の平易化と業務効率化を通じて、技術者不足の解決を目指します。

■共同研究の内容

本協定に基づき、以下の共同研究を市内の下水処理施設において 2025 年 3 月 31 日までの期間で実施します。

AGV と AI カメラを組み合わせ、技術者が下水道施設の電気室内で行っているメーターの読み取りなどの日常点検作業を自動化し、そのデータから帳票を出力します。AGV による自動巡回とセンサデバイスによる無人点検の実現を研究目標とし、点検業務における省力化と効率化の実現可能性を検証します。

※自動巡回用 AGV には業務 DX ロボット「ugo mini」、センサデバイスには AI カメラを利用します。

当社は、今回の共同研究を契機に、AGV をはじめとする先進的なデジタル技術を活用し、今後も上下水道事業における業務効率化と技術者不足などの課題解決に向けた取り組みをより一層推進してまいります。

株式会社フソウについて

設計・施工・運転管理・メンテナンスにおいてデジタル技術も活用し、上下水道事業全般を展開する総合水インフラ企業です。設計・調達・施工と管理・保守を請け負う建設事業および建築設備事業、資機材の調達・流通・販売から管路の設計・施工一括発注方式(デザインビルド案件)を手掛ける商社事業、鋼板製異形管の製造および技術開発を進める製造事業、当社の持つ強みを活かしてグローバル展開を推進する海外事業など、各事業の専門性とデジタル技術を融合させ、水インフラサービスの持続可能性を追求し、地域社会の課題解決に取り組んでいます。

本社所在地:東京都中央区日本橋室町 2 丁目 3 番 1 号

代表者:代表取締役 社長執行役員 角 尚宣

資本金:30 億円

創業/設立:1946 年 8 月

拠点:38 拠点(国内 36 拠点、海外2拠点)

Web サイト:<https://www.fuso-inc.co.jp>

— 報道関係からのお問い合わせ先 —

株式会社フソウ

経営戦略本部 広報部

TEL:03-6880-2123 / MAIL:koho@fuso-inc.co.jp